

産・学・公が集う! 京都最大のビジネスイベント!
 ~すべてのチャンスはここから始まる~

京都ビジネス交流フェア2003

2003年3月11日(火)
 国立京都国際会館 午前10時~午後5時

入場無料

イベント1 京都ビジネスパートナー交流会2003

京都府内の中小企業が製造したオリジナル製品、ITや特殊技術を駆使した加工部品、また、それらのパネル等を展示し、府内外のメーカーに紹介し、新たなビジネスパートナー発掘の場として役立てていただこうとするものです。是非とも御来場ください。

開催日 2003年3月11日(火) 10:00~17:00
 会場 国立京都国際会館(京都市左京区宝ヶ池)
 入場 無料
 出展企業 167企業(機械金属、電気・電子、表面処理、樹脂、情報、木工他)、9グループ、6大学、16機関
 主催 京都府 財団法人京都産業21



イベント2 京都ものづくりフォーラム2003

日時 2003年3月11日(火) 10:30~12:00
 場所 国立京都国際会館 Room A
 講師 京セラ株式会社 代表取締役社長 西口 泰夫氏
 テーマ「大変革を乗り越えるための企業経営」



事前のお申し込みが必要です。

[お問い合わせ先 (財)京都産業21 経営革新課 TEL 075(315)8848 FAX 075(323)5211]

INDEX

京都ビジネス交流フェア2003開催	1	あっせん情報(発注・受注コーナー)	6~7
京都ビジネスパートナー交流会出展企業紹介	2~3	取引適正化無料法律相談日のお知らせ	7
2月は省エネルギー月間です	4	専門家特別相談日のお知らせ	7
中小企業とAS(国際会計基準) その4(最終回)		「あきんど講座」開催のお知らせ	7
連結納税と税効果会計	5	企業取材レポート「気になるこの人、この会社」	8

イベント 3 ビジネスプラン発表会 ビジネスプラザ京都2003

日 時 2003年3月11日(火) 13:20～17:00
 場 所 国立京都国際会館 Room C-1、C-2
 主 催 京都府 財団法人京都産業21 日本政策投資銀行
 京都商工会議所「京都・ビジネスモデル推進センター」
 共 催 京都府東京経済情報センター
 京都リサーチパーク株式会社

事前のお申し込みが必要です。

[お問い合わせ先 (財)京都産業21 新事業課 TEL 075(315)8848 FAX 075(323)5211]

イベント 4 げんき交流KYOTO IT普及セミナー

日 時 2003年3月11日(火) 14:15～15:45
 場 所 国立京都国際会館 Room D
 講 演 講 師 グーグル(株) セールス&オペレーションディレクター 佐藤康夫氏
 テーマ 「Googleが展開するサービスとビジネス」
 講 師 (株)関西どっとコム 代表取締役 田村昌弘氏
 テーマ 「関西どっとコムのめざす世界」

事前のお申し込みが必要です。

[お問い合わせ先 (財)京都産業21 産業情報部 TEL 075(315)8677 FAX 075(314)4720]

出 展 企 業 一 覧

産・学・公が集う! 京都最大のビジネスイベント「京都ビジネスパートナー交流会2003」 167社、9グループ、6大学、16機関

1 自動化機器・生産設備設計～製作

(株)旭プレシジョン	(株)東亜セイコー
NKE(株)	ニンバリ(株)
応用電機(株)	(株)ムラタ製作所
桜井工機(株)	(株)メカテック
秀峰自動機(株)	(株)モートロン
(株)積進	(株)森川製作所

4 精密板金・製缶加工

(株)アールエンジニアリング	太陽機械工業(株)
伊東板金工業(株)	(株)高倉有光社
掛津アーム(有)	(株)高田医科器械製作所
(株)京都シャーリング工場	(株)玉山工業
(有)新和製作所	(有)松田精工
(株)誠工社	(株)宮崎製作所
(株)大栄製作所	

2 金型設計～製作

(有)宇治研磨	(株)三昌製作所
(株)三央製作所	

5 鍛造・鋳造

(株)韋城製作所	三栄金属工業所
一志(株)	(株)徳本
(株)大宮日進	(合名)松宮金属精工所
(株)尾崎鐵工	(株)峰山鐵工所
(有)木瀬アルミ製作所	

3 精密機械加工

(株)オージーファイン	(株)清水製作所
荻野精工(株)	城陽富士工業(株)
(株)桶谷製作所	(株)白金製作所
(株)カツミ	(株)セイワ工業
(株)川口金属	大和技研工業(株)
(有)河田製作所	(株)タムラ
河原鉄工(株)	(株)タンゴ技研
(株)木村製作所	(株)DG工業
(株)京都製作所	(株)寺内製作所
(株)草川精機	長津グループ
小西精工(株)	長津工業(株)(株)長津製作所
小林金属興業(株)	西村鉄工(株)
(株)小林製作所	(有)日光電機製作所
佐々木機械(株)	(株)日進製作所
(有)三翔精工	日本ハード技研(株)
(株)山豊エンジニアリング	(株)ミネヤマ精機
(株)シオガイ精機	(株)山口精機製作所

6 メッキ・塗装・熱処理

上田鍍金(株)	(株)キョークロ
協業組合丹後熱処理センター	

7 特殊加工(技術)

エヌシー産業(株)	(株)サンセイ
オグラ宝石精機工業(株)	(株)高岡
関西営業所	東海電工(株)
(有)キーアシスト	中沼アートスクリーン(株)
共栄工業(株)	(株)ピースパッタ
京都岩井防蝕(株)	(有)誠精工所
京都プラス精機(株)	(株)ヤマコー
京都事業所	レイデント工業(株)
(株)栗田製作所	

8 成型・樹脂機械加工

河長樹脂工業(株)	(株)西山ケミックス
(有)木村エンジニアリング	プロニクス(株)
三和化工(株)	ミヤコテック(株)
(株)セネック	

9 電気・電子機器

宇治電器工業(株)	(株)データ・テクノ
(株)旺辰電工	(株)テラシマ精機
木下電子工業(株)	(株)西嶋製作所
(株)京光製作所	ヒラキ電計機(株)
京都電子工業(株)	藤田電子製作所
(株)キョーバル	マイクロテスト(株)
シライ電子工業(株)	牧電子工業(株)
開発支援課	ミヤ電子(株)
信栄電機(株)	ユメックス(株)
高槻電器工業(株)	和晃技研(株)

10 木材工芸・木型

宮坂家具工芸(株)

11 情報技術・ソフト

(株)アド・コム	(株)ケイエスケイシステム
アド・プロヴィジョン(株)	進洋プランニング(株)
インフォテック(株)	星和情報システム(株)
(有)エフ・ディー・サン	(株)丹後コンピュータサービス
(株)遠藤写真工芸所	(株)ハイパーテック
(株)カワイプロ	(有)ペンギンファクトリー
(株)グラフィック	

12 自社開発製品(技術)

栄進電機(株)	(有)豊工房 ヨシオカ
栄立電機(株)	(株)東洋レーベル
オーエステイ技研	(有)飛永製作所
基幹舎	ニューリー(株)
(有)京都カーブラインド工業	本間工業(株)
工房 拳修庵	(株)松菱製作所
センサテック(株)	(株)山口製作所
大洋エレックス(株)	(株)山科電機製作所
タカス技研	山中産業(株)
タキガワ製作所	

ACCESS

国立京都国際会館へは京都駅から20分、地下鉄利用が便利です。(国際会館下車)

鉄道をご利用の場合

東京・中部方面より
東海道新幹線 JR京都駅 地下鉄烏丸線
九州・中国方面より
山陽新幹線 JR京都駅 地下鉄烏丸線
大阪・神戸方面より
阪急京都線 阪急烏丸駅 地下鉄烏丸線
京阪本線 京阪三条駅 地下鉄東西線・烏丸線

飛行機をご利用の場合

関西国際空港より
JR特急はるか(75分) JR京都駅 地下鉄烏丸線
大阪国際空港より
リムジンバス(55分) JR京都駅 地下鉄烏丸線

お車をご利用の場合

名神高速道路 京都南IC または京都東IC より市内道路表示の「国立国際会館」を目印にお越しください。

13 試作

(株)神村製作所	(有)永政
(株)クロスエフェクト	(株)ハタナカ
(有)サン精密エンジニアリング	(有)廣部機型製作所
清水長金属工業(株)	(株)ムラカミ
(株)積進	京都試作ネット
(有)長濱製作所	

14 グループ・団体

共生	けいはんなミモザ会
ITC京都	コスモクラブ
起業家グループ Kyoto Eggs	丹後機械工業協同組合
京都機械金属中小企業青年連絡会	峰山町商会 機械金属部
京都府電子機器工業会	京都異業種交流会京(みやこ)ハレー

15 大学

京都工芸繊維大学	同志社大学リエゾンオフィス
地域共同研究センター	立命館大学BKリエゾンオフィス
京都産業大学	龍谷大学エクステンションセンター
京都大学	

16 関係機関

関西TLOC(株)	京都府職業能力開発協会
(社)京都経営・技術研究会	京都職業能力開発サービスセンター
(社)京都工業会	京都府中小企業総合センター
(財)京都高度技術研究所(ASTEM)	近畿経済産業局
京都商工会議所	通信・放送機構
中小企業経営相談センター	けいはんな情報通信研究開発支援センター
通信・放送機構	雇用・能力開発機構京都センター
京都情報通信研究開発支援センター	(財)全国下請企業振興協会
京都府織物・機械金属振興センター	(社)中小企業診断協会京都支部
京都市町村企業誘致推進連絡会議	(協)京都府中小企業診断士会
(社)発明協会京都支部	

17 財団関連事業

(財)京都産業21	技術顕彰事業
京都ユニバーサルデザイン研究会	京都デザイン優品2003
マイクロ表面加工研究会	



お問い合わせ先

(財)京都産業21
〒600-8813 京都市下京区中堂寺南町134(京都府産業プラザ内)
TEL.075-315-8590 / FAX.075-315-9240
URL <http://www.ki21.jp> E-mail: kyotofair@ki21.jp

2月は省エネルギー月間です

全員参加で省エネルギー活動を推進しよう

エネルギー使用合理化相談員 瀧 光太郎

2月は省エネルギー月間です。12月～2月の冬季、特に2月はエネルギーの消費量が増大する月であり、昭和52年2月から省エネ月間として活動が実施されてまいりました。

先の「冬の省エネルギー総点検の日」(12月1日)に続いて、2月は全国各地で官民一体の省エネキャンペーンや各種イベントが開催されます。主要な行事としては、「ENEX2003」(第27回地球環境とエネルギーの調和展)が東京と大阪の2会場で開催されますが、テーマは「ビジネスと生活を豊かにする省エネルギーと新エネルギー」で、大阪会場の会期は2月13日から2月15日です。

昨年6月に「地球温暖化対策推進法」が改正され、また今後エネルギーの需要増が見込まれる大規模オフィスビル等についても、大規模工場に準じたエネルギー管理強化を図るために省エネ法が改正(H14.6公布)されました。

さらに、昨年の11月に省エネルギー・省資源対策推進会議省庁連絡会議において、冬季の省エネルギーの必要性に対するより一層の理解と意識の向上を図り、省エネルギーの実践を促進するため、政府は産業界はもとより家庭に対しても、重点項目を挙げてその推進を要請しています。ここで、中小企業及び家庭を中心に、そのうちのいくつかをみてみましょう。

(1)工場・事業場について

自らの工場・事業場についてエネルギー消費設備が効率よく運用されているか等の省エネルギーに関する診断の実施を検討するとともに、従業員に対し省エネルギーに関する研修等の機会の提供に努めること。

(2)家電機器等エネルギー消費機器について

家電機器、OA機器等のエネルギー消費機器等の製造・輸入に当たっては、トップランナー基準方式が導入され、機器の省エネルギー基準が抜本的に強化されたことを踏まえ、自ら製造・輸入する機器のエネルギー消費効率の向上に努めること。また、これらのエネルギー消費機器の利用に当たっては、不要不急時はこまめに電源を切ること等、エネルギーの使用の効率化を図ること。

(3)住宅、ビル等について

住宅、ビル等の新築、増改築に当たっては、住宅等の省エネルギー基準を踏まえ、高効率エネルギーシステムの採用や断熱材の利用、設計の工夫等により、省エネルギー性能の向上を図ること。暖房中の室温が20℃を超えないように適切な調整に努めること。不必要なエアコンの使用を控えること。電気製品の主電源の入りっ放しをなくすこと。食器洗いなど給湯温度を低くすること。冷蔵庫に物を詰めすぎないよう効率的に使うこと。照明はこまめに消灯すること。白熱電球から蛍光灯に付け替えること、等。

(4)自動車利用等による旅客・貨物輸送について

自動車の購入に当たってはエネルギー消費効率のよいものを選択すること。貨物輸送に際しては、積載効率の向上、物流の効率化を図ること。通勤及び冬季休暇におけるレジャー等の移動に関しては、できる限り公共交通機関の利用をはかり、近距離移動に際しては、徒歩や自転車での移動を図ること。自動車を利用する場合には、駐停車時のアイドリングストップの実施、等。

政府、地方公共団体等においてもこの省エネ月間を中心に省エネを推進することとなっております。

たとえば、暖房中の室温は19℃程度を目途に過度にならないように、また国の各行政機関におけるエネルギー使用量を前年度冬季(12月～3月)比1%を目途に削減に努めることとなっております。

温室効果ガス全体で1990年度比6%削減(COP3の合意)を目標に、上記のような省エネ対策に加えて、新エネルギー対策、燃料転換等によりエネルギー起源のCO₂を2010年度において90年度と同水準まで抑制することが求められております。そして、この目標達成のためには、エネルギー(Energy)問題と環境(Environment)、経済(Economy)との関係(3E)を如何にうまく解決するかという困難な問題を伴います。

エネルギー問題の中でも特に省エネルギーについては、官民一体、全国民一体となり省エネ意識を深め、小さなことから、できることから実践し、積み重ねることが重要なことでしょう。

なお、京都府においては、当財団が中小企業を対象に中小企業総合事業団の「エネルギー使用合理化専門員派遣制度」の窓口を担当しております。省エネ月間を機会にこの制度の利用をご検討してみても如何でしょう。

中小企業とIAS(国際会計基準)その4(最終回) 連結納税と税効果会計

公認会計士 陣川 公平

1 なぜ連結納税か(グループ内に赤字会社があれば有利になる)

赤字会社の税金

会社の決算で利益が出たら、必ず税金を納めねばなりません。ところが決算が赤字の場合、税金は0でおしまいです。見合った税金分を補ってくれるわけではありません。しかし、グループ各社の決算をまとめて連結納税をすると、グループ内の赤字会社の欠損額は通算されて全体の納税額は少なくて済みます。図1で、親会社(P)と子会社(S1、S2)が別々に納税すると、税金総額は(30+9+0=39)ですが、連結決算をしたあとで納税すると24です。子会社S2の赤字50が有効に働いたわけです。

もちろん、連結納税では親会社一本で資金手当と納税を済ませられるという利便性もあります。

図1 連結納税

	親会社	子会社(S1)	子会社(S2)	計	連結
利益	100	30	50	80	80
法人税(30%)	30	9	0	39	24

連結納税の条件

企業会計で連結決算の対象にするのは、50%超株式保有の子会社が原則です。ところが連結納税の適用を受ける子会社の範囲は、100%株式保有の所となっています。しかも、国内子会社だけで海外で活動している子会社は除かれます。

連結納税を採用するかどうかは会社の自由ですが、連結子会社を選択(S2は入れるがS1は除く)することは認められませんし、一たん採用したら、継続適用が原則です。

マイナス面もある

連結納税を取り入れた会社は、普通の法人税の他に連結付加税2%を納めることになっています(臨時措置)。これではグループ内に赤字会社があっても、必ずしも納税額がトクにはならないかもしれません。

また、グループ内で税金負担額を配分する時赤字会社の分をどうするか、各社の納税意欲や、経営責任意識をどう高めるかといった問題も考えておかねばなりません。

2 税効果会計でなにが分かるか

法人税は会社の利益にかかることになっています。ところが、会社が企業会計の手続きに従って計算した利益と、税務が税法によって算出した利益(課税所得)とは異なる場合が多いのです。

図2で、企業会計の原価800のうちに、減価償却超過分40が含まれていると、税務計算はその分を修正して、利益240、税金72とします。実際の納付税額72は企業会計の考えている利益200とバランスがとれていません。これを調整するのが、税効果会計です。

この場合では、納付72の税金のうち12は前払税金だと考えて、図2の修正損益計算をします。これで、もともとの企業会計による損益計算書に戻りました。前払税金分12は貸借対照表資産の部に「繰延税金資産」という項目で計上することになります。

仕訳(借)繰延税金資産12 (貸)法人税等12

図2 税効果会計

	企業会計	税務会計	税効果会計
売上	1 000	1 000	1 000
原価	800	760	800
税前利益	200	240	200
法人税(30%)	60	72	72
(法人税等調整額)			12
純利益	140		140

あっせん情報

このコーナーについては、産業振興部 企業振興課までお問い合わせください。
 なお、あっせんを受けられた企業は、その結果についてご連絡ください。

企業振興課 TEL.075-315-8590

発注コーナー

(平成15年1月24日調)

業種 No.	発注品目	加工内容	地 域 資本金 従業員	発注案件							
				必要設備	材料等	数量	金額	支払条件	希望地域	運搬	備考
織-1	足袋	型紙～仕上	京都市 右京区 1000万円 4名	関連設備一式		話合い		20日〆 翌月10日支払	不問	話合い	経験者、 足袋専門 業者以外 不可
織-2	婦人ジャケット・ ワンピース・ ブラウス	(裁断～) 縫製～仕上	大阪府 東大阪市 1000万円 25名	本縫いミシン、オーバロック クミシン、その他		多品種少量		20日〆 翌月20日支払	不問	話合い	

受注コーナー

(平成15年1月24日調)

業種 No.	加工内容	主要加工 (生産) 品 目	地 域 資本金 従業員	主要設備	月間の 希望する 金額等	希望する 地域	備考 能力 特徴 経験等
機-1	フライス・旋盤加工	半導体生産設備、 一般産業用機器部品	京都府 北桑田郡 個人 3名	MC、NC旋盤、その他	話し合い	不問	
機-2	製缶・板金加工	一般産業用機器	京都府 亀岡市 1000万円 13名	レーザーパンチプレス、NCプレスプレーキ、平 面研磨機、シャーリング、CO2溶接機、アルゴ ン溶接機、ホイスト、ボール盤、フライス、その他	話し合い	不問	
機-3	金型の設計・製造 ～射出成形	精密プラスチック金型 加工射出成形	京都府 大宮町 5000万円 6名	NC型彫放電加工機、ボール盤、直立タッピ ングマシン、フライス盤、成形研削盤、ワイヤ ーカット放電加工、その他	話し合い	不問	「BPNet」 受注 No.228
機-4	機械設計、治具製 作、ユニット組立	FA機器設計・製作、複合 部品の提案設計・試作・ 量産、難削材加工受託、 治工具の設計・製作	京都府 綾部市 360万円 4名	AutoCAD、LT2000、その他	話し合い	不問	「BPNet」 受注 No.229
機-5	組立、配線、調整、 検査(現地出向可 能)	メカトロ・医療機器及 び制御盤、P板	京都府 大山崎町 300万円 14名	関係設備一式	話し合い	不問	
機-6	一般切削加工 (NC・MC加工)	自動車部品～航空機 部品まで	京都市 南区 300万円 5名	NC旋盤、MC、旋盤5～8尺、ボール盤、 多軸タッピングマシン、その他	話し合い	不問	
織-1	縫製～糸切り	婦人水着全般(OP・セ パレーツ・ピキ二等)	京都府 丹後町 個人 7名	水着縫製関連設備一式	話し合い	不問	
軽-1	シルク印刷、ホット スタンプ、熱転写印刷	冷蔵庫・掃除機等プラ スチック射出成形	京都府 和知町 3000万円 21名	射出成形機、ホットスタンプ、熱転写機、その他	話し合い	不問	
軽-2	ダンボール製造	ダンボールケース	京都府 福知山市 320万円 4名	裁断機、ステッチャー、その他	話し合い	不問	

業種 No.	加工内容	主要加工 (生産) 品 目	地 域 資本金 従業員	主要設備	月間の 希望する 金額等	希望する 地域	備考 [能力 特徴 経験等]
他-1	お客様のニーズに応じたアプリケーションソフト開発	アプリケーションソフト、Webシステム	京都市 下京区 300万円 4名	パソコン、プリンタ、スキャナー、その他	話し合い	不問	
他-2	Webアプリケーション作成、Webデータベース構築、インターネットインフラ整備	設計・制御システム、計測データ処理システム、シミュレーション・解析ソフト	京都市 京田辺市 1000万円 5名	パソコン、その他開発環境一式	話し合い	不問	

*備考欄に「BPNet」の表記がある場合は、ホームページのBPNetで詳細をご覧ください。
「BPNet」のURLは、<http://www.ki21.jp/BPN/>です

取引適正化無料法律相談日のお知らせ

当財団では、取引に関する法律問題や苦情・紛争及び経営活動で生じる様々な法的問題でお困りの中小企業の方に対し、顧問弁護士による無料法律相談を下記のとおり行っておりますので、お気軽にご利用ください。

相 談 日 平成15年2月の相談日は12日(水)です。
平成15年3月の相談日は13日(木)です。
相談時間 13:30～16:00
相談場所 当財団 相談室
申込方法 事前に相談内容を当財団 産業振興部 企業振興課までご連絡ください。
TEL 075-315-8590 / FAX 075-315-9240 E-mail:kigyo@ki21.jp

専門家特別相談日のお知らせ

課題解決には、先ず専門家相談員に相談を!!

当財団では、創業・ベンチャー企業および経営の向上をめざす中小企業の方々が事業展開を図る上での、様々な問題解決について、専門家相談員が無料でお応えする『専門家特別相談日』(毎週木曜日)を開設しています。ぜひご利用ください。

2月の相談日 6日、13日、20日、27日(いずれも木曜日)
相談時間 10:00～16:00
相談場所 当財団 相談室
問合せ・申込先 事前に相談内容を当財団 新事業支援部 経営革新課までご連絡ください。
TEL.075-315-8848 / FAX.075-323-5211 / E-mail:kakushin@ki21.jp
専門家相談員等の詳細は、財団のホームページをご参照ください。
<http://www.ki21.jp/information/specialist/sodan/>

毎週木曜日
開設

「あきんど講座」開催のお知らせ

色彩戦略セミナー 繁盛る理由は“色”にあった!

第5回	平成15年2月21日(金) 13:30～15:30 参加料：無料 定員：50名 会場：京都リサーチパーク内	テーマ：～エクステリア&インテリアへのカラー(色彩)提案～ ・カラーの基本原則 ・コーディネートのお考え方・仕方 ・コンセプトをカラーで表現する 講師：カラーコンサルタントスタジオ 主宰 松田博子氏
	申込み	当財団 産業振興部 商業支援課までお申込ください。 TEL 075-315-9090 / FAX 075-315-9091 E-mail:retail@mail.joho-kyoto.or.jp ホームページにおいてもご案内しています。なお、ホームページからも申込できます。 http://www.joho-kyoto.or.jp/retail/akindo/index.htm

企業取材レポート「気になるこの人、この会社」

有限会社誠精工所 プラスト加工による塗装剥離で、新分野への進出を探る

社 名 有限会社 誠精工所
代 表 者 石橋 誠一
従 業 員 8名
創 業 昭和51年2月
所 在 地 京都府舞鶴市字小倉森次116 - 2
T E L 0773 - 63 - 4154
F A X 0773 - 64 - 0315



代表取締役 石橋 誠一氏

舞鶴市の東部に位置する有限会社誠精工所は、海上自衛隊の装備品や、艦艇の計装配管など小物の製缶加工を得意とする会社である。

ここ東舞鶴は、眼前に広がる良港をいかし明治36年に舞鶴海軍工廠が発足して以来、艦艇や商船などの建造・修繕を主要産業として発展してきた。同社をはじめ多くの地元企業がこれらの産業を支えてきた。

近年、造船業も他産業と同様に、各国の追い上げが激しい。地元企業にも厳しいコストダウンが要求されるなか、同社の石橋社長は、新たな加工分野を模索していた。

同社が、これまでから携わっている海上自衛隊の装備品は、海水の影響で錆びやすく、腐食の進行を止めるため、数年ごとに塗装を剥がし、再塗装する必要があった。アルミ・ステンレス、銅、真鍮材などは傷つきやすく、ワイヤーブラシや剥離液を使って手作業で塗装を剥がすのだが、その工程は長時間を要するものであった。

石橋社長は、作業改善、品質向上を図るため、特殊なプラスチック粒を使用した、柔らかい素材でも傷つきにくいプラスチックメディアプラストというこれまで国内では設置例がほとんどなかった機械設備を財団設備貸与制度の利用により導入することを決断し、プラスト加工による塗装剥離を始めた。これにより作業時間が大幅に短縮でき、さらにこの工法は、柔らかいアルミ材などでもキズつかず、また従来の工程では剥がれていたアルマイト処理された面は残すため、再処理の必要がなくなり費用面でも改善された。

設備導入後一年経過した現在では、材質に応じた多くの加工データの蓄積もでき、より効率的な加工が可能となった。環境対策がクローズアップされる中、今後は、他業種においても塗装を剥離し素材を再利用していくというリサイクル需要を掘り起こすため、同社は来る3月11日当財団が主催する京都ビジネスパートナー交流会に初出展する。

石橋社長は、これまでの取り組み事例とともに“自社の売り”を積極的にPRし、新規顧客開拓に努めたいと同展示会に向けての抱負を力強く語っておられた。

プラスチックメディアプラスト(PMB)処理例



処 理 前



処 理 後